

■大橋 鎮子 編集者・エッセイスト。敗戦直後、花森安治と知り合い創刊した雑誌(暮しの手帖)は、社会現象になった。

おおはし 鎮子

大暴落・・・1920＝

東京・麹町の病院で、大橋武雄と久子の長女に生まれる。父武雄は岐阜県出身で、府立一中を経て、北海道帝国大学農学部卒業し、この前年に中越製布に就職したところ。母は小樽出身で女子美術学校を卒業。

原敬首相暗殺 1921＝ 1歳：妹晴子が誕生。父が北海道の工場長となったため、一家で転居、

関東大震災・1923＝ 3歳：末っ子になる妹芳子が誕生、

北海道の大自然のなか、お転婆なガキ大将に育ち、  
円本時代始・1926＝ 6歳：父が肺結核になったため、会社を辞めて、東京に戻り、半込の小学校に入学するも、都会のなかで面白くなかったが、父が療養のため鎌倉に転居し入院、鎌倉第二小学校に転じるや活気を取り戻すも、家族そろって父の看病に明け暮れる。

世界恐慌・・・1929＝ 9歳：父の病は改善せず、父の従兄弟夫妻の勧めで、  
海軍軍縮条約 1930＝10歳：一家で大井町に転居し、大井第一小に転学。ついに父が死去。母の意向で、長男のように、喪主を務め、祖父らの支えもあって、一家の大黒柱になって行く。

満州事変・・・1931＝11歳：  
五一五事件・1932＝12歳：卒業し、文化学院にも合格したが、東京府立第六高等女学校(現・東京都立三田高等学校)に入学、後輩の石井好子とは以後親交。生徒の健康が大事にする学校で、心と身体を鍛えられ、一家を支えようと、歯磨きを製造して売ろうとするも失敗するなどしながら、  
二二六事件・1936＝16歳：良家の子女の希望の多い日本興業銀行(現・みずほ銀行)の面接試験を見事突破し、  
日中戦争始・1937＝17歳：卒業。入行。調査課に配属され、のちに東京都民銀行頭取になる工藤昭四郎課長のもと、  
健保+総動員 1938＝18歳：

重役のための新聞切抜きなどによって、スキルを身につけるも、世間のことについて知ることも多く、  
大政翼賛会・1940＝20歳：「もっと勉強しようと、周囲に内緒で受験し、日本女子大学家政学部第二類に入学するが、  
日米開戦・・・1941＝21歳：肺結核となり転地療養、回復したが、これ以上迷惑はかけられないと中退。新聞の求人欄で、女性事務員を募集していることを知った(日本読書新聞)を訪ね、松江高校で花森と同級だった田所太郎編集長と話をし入社。まもなく、内閣情報局のもとで統制や検閲をしていた日本出版文化協会の専務理事で朝日新聞の出版局長飯島幡司に字を気に入られ、文書の清書のためにと、その秘書室に出向するうち、その機関紙になった(日本読書新聞)に戻って編集部に所属、田所編集長のもと編集を学ぶうち、田所らが召集され休刊、

敗戦・・・1945＝25歳：東京大空襲が始まると延焼防止のため大井町の実家は取り壊され、近所に強制疎開。敗戦後、復員した田所が花森安治の協力を得て復刊すると、声をかけられて編集部に戻り、大物作家川端康成から苦勞の末原稿を入手して驚かれるも、自ら編集事業を起したいと、田所に相談、花森を紹介され、

新憲法公布・1946＝26歳：妹とともに、\*花森と、銀座に(衣装研究所)を設立して社長となり、花森編集長が企画した、花森デザイン(の服を姉妹で作って着た姿を花森がスケッチするという雑誌(スタイルブック)を創刊、大ヒットするも、  
新憲法施行・1947＝27歳：経理担当で加わった横山啓一は、後に晴子と結婚することに。類似雑誌の登場で低迷したため、  
極東裁判判決・1948＝28歳：花森編集長による(美しい暮しの手帖)を創刊、創刊号には(日本読書新聞)の時の縁で、川端康成の原稿を得るも評判は今一つ、編集部員皆で書店を回って置いてもらうよう必死に依頼し、かつての興銀の伝手を頼って借金、料理や住まいの記事を加え、川端につながる一流作家の寄稿も次々と得られるようになり、

朝鮮戦争始・1950＝30歳：別冊「すまいの手帖」を刊行する頃には評判も確立、  
独立回復・・・1951＝31歳：社名を(暮しの手帖社)にし、  
TV放送始・・・1953＝33歳：雑誌名も(暮しの手帖)に変えると、花森は、東麻布に、(暮しの手帖研究室)を設け、  
自衛隊発足・1954＝34歳：広告収入を排除した商品テストを始めて記事にすると、飛躍的に売れるようになり、  
国連加盟・・・1956＝36歳：花森と(暮しの手帖)社は菊池寛賞を受賞、総合誌として確固たる地位を築き、初めて編集部員を公募。  
インスタグラム・1958＝38歳：(週刊朝日)の扇谷正造、(文藝春秋)の池島信平、(旅)の戸塚文子とともに、アメリカ国務省の招きで渡米し視察旅行、多くの新知識を得、ベアレンツ社からは子どもを遊ばせるに貢献した賞を贈られる。

安保闘争・・・1960＝40歳：アメリカで得た知識をもとに、新しいふきんを開発、現在でも売られる超ロングセラー商品となり、  
TV宇宙中継始 1963＝43歳：企業と共同で、ステンレスの流し台「シルバークイーン」を製作するなど、台所の近代化に貢献する一方、この年の(暮しの手帖)の記事にして知ったスポック博士の育児書の翻訳権を得、

大学紛争始・1965＝45歳：  
いざなぎ景気 1966＝46歳：「スポック博士の育児書」を出版するや大ヒット、現在もなお売れ続けている。  
美濃部都知事 1967＝47歳：(暮しの手帖)96号一冊まるごとを、読者から募った「戦争中の暮らしの記録」とし記録的な売れ行き、

全共闘ブーム・1969＝49歳：花森が心筋梗塞で倒れるも回復。\_(暮しの手帖)が通算100号を迎え、以降、100号ごとに「n世紀」という表記を使用するが、その2世紀第一号から、誌上に、エッセイ「すてきなあなたに」の連載を始め、

石油ショック 1973＝53歳：  
角栄金脈辞任 1974＝54歳：  
ケアンズ事件 1975＝55歳：「すてきなあなたに 1」を出版、以後、数年ごとに連載を単行本にして出版していく。  
この間、花森は、心臓に問題を抱えて体調不十分中、なお社会時評を書き、編集業務を続けていたが、

成田衝突・・・1978＝58歳：花森が心筋梗塞のため死去、遺志をくんで盛大な葬儀はせず、お別れの会に留めるも1000人近くの弔問客。花森の後を継いで編集長となり、第二世紀53号には、生前の話聞いてメモしておいた遺言を掲載、

中曽根内閣・1982＝62歳：  
ドイツニライト 1983＝63歳：

バブル崩壊・1992＝72歳：  
55年体制終・1993＝73歳：  
自社さ連立・1994＝74歳：連載エッセイ「すてきなあなたに」で、「戦後の一般の人の暮らしを豊かにした」と、第10回東京都文化賞。

小泉9.11テロ 2001＝81歳：  
・・・2004＝84歳：横山泰子(長妹である晴子の息子の妻)に社長を譲り、社主となる。  
・・・2006＝86歳：連載は「すてきなあなたに 5」の分で終わりも、  
・・・2010＝90歳：「『暮しの手帖』とわたし」を出版し、  
安倍政権発足 2012＝92歳：毎日入社し、朝9時から夕方5時半まで働き続けていたが、  
・・・2013＝93歳：肺炎のため、東京都品川区の自宅で、\_没した。  
没後3年、その生き方をモデルに、NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」が放送された。

三オムック「大橋 鎮子 花森安治と創った昭和の暮らし」、